

# CITIZEN®

## 電波時計 取扱説明書 (掛時計)

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して時刻を自動修正
- 強化防滴、防塵構造

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造  
発売元

**リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

#### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

#### ●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1306)

### おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ \*結露しないこと

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度

秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度

標準電波を受信しない場合

平均月差±20秒（温度が5～35℃のときのクォーツ精度）

使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 4個

電池寿命 約5年 標準電波の受信に成功して、秒針が1日当たり7時間暗所で停止した場合

暗所秒針停止 明暗センサーに連動して12時位置に停止

電池交換時期 秒針が常時12時位置に停止

お知らせ機能

電波時計機能 電波の受信に成功すると時刻を修正

受信局 福島局/九州局 自動選択

サーチ機能 受信局、電波強弱受信を表示

受信回数 1日に最少1回、最多6回

受信ON/OFF ボタン操作でON/OFF切り替え

手動時刻合わせ ボタン操作

防水機能 当社規格の強化防滴防塵構造

自動受信開始時刻

受信状態により、受信回数は変化します。

2時16分20秒、3時16分20秒、4時16分20秒、12時16分20秒、13時16分20秒、14時16分20秒

\*2時16分20秒は必ず受信を行います。

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

電池 4個 木ねじ 1個 取付金具 1個 くぎ 4本

取扱説明書 本書 保証書 1枚

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 BMY○○○、8MYA○○

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。  
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

当社は CITIZEN ブランドライセンス商品の掛時計、置き時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

### 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

#### 図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

⓪は、指示する行為を必ずすることを示しています。

**警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

**注意** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**禁止** 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない。

**禁止** 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●漏れた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池を取り出して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

**注意** 電池の⊕⊖を正しく入れる  
必ず守る 逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

**禁止** 強い振動や衝撃を与えない  
禁止 故障や破損の原因になります。

**禁止** 分解したり改造しない  
分解禁止 けがや故障、防水性能の低下の原因になります。

**禁止** 下記のような場所では使わない  
禁止 品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

### 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

#### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

#### 電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。

#### 電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

### 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

### お手入れについて

- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

### 静電気の影響について

静電気の影響により正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

### 電波時計について

#### 電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

#### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)

#### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

#### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

### ◎防水性について

当社の強化防滴防塵は、汚れ落としのために静かに水の中に浸けることができる防水構造です。

**注意** 防水性を維持するために次のことを守ってください。

- バッキンやプラスチック、金属部品が劣化する所に設置しないでください。
  - ・殺菌や脱臭などを目的としたオゾンが発生する機器がある所
  - ・屋外など紫外線を浴びる所
  - ・塗料などに使われるトルエンなどの有機溶剤を使用する所
  - ・温泉など硫化ガスが発生する所
  - ・プールなど塩素殺菌による塩素ガスが発生する所など

●50℃以上になるサウナなどでは、電池からの液漏れが発生しやすくなります。また、防水性能や時間精度が低下しますので使用しないでください。

●ふたをきっちりと締めてください。

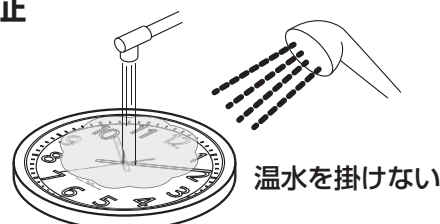
●油分のある台所でも使用できますが、天ぷら専門店の調理場や大量に油を使う工場など、多量の油分が発生する所では使用できません。

●耐水圧構造ではありませんので、水の中に深く沈めたり10分以上浸したりしないでください。

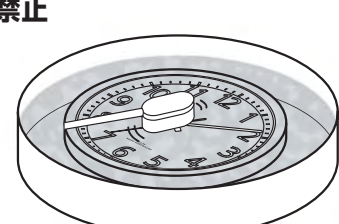
●湿度が高い所でふたの着脱を行わないでください。内部に湿気が入り込み、周囲の温度変化によりガラスがくもることがあります。

●防水性能を長く保つため、急激な温度変化や振動を加えないでください。

**禁止** 蛇口、シャワーなどの流水を掛けない  
時計内部に浸水します。



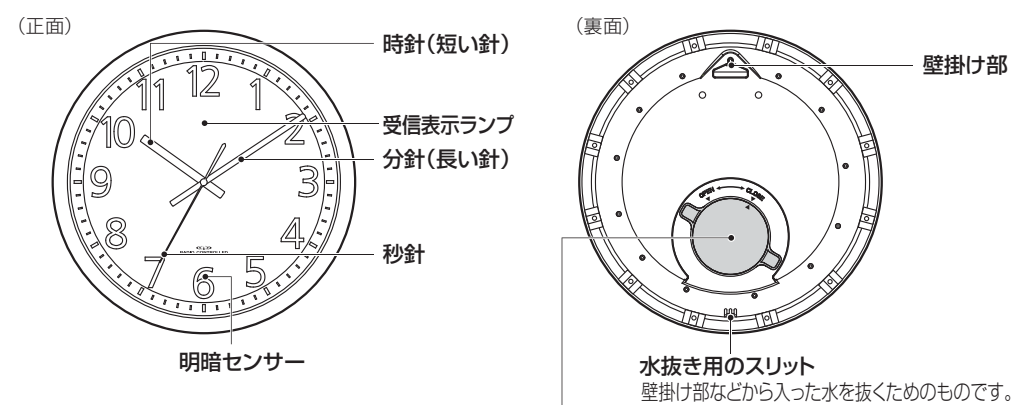
**禁止** 水の中で洗わない  
時計内部に浸水します。



#### ケースの汚れを落とすとき

水でうすめた中性洗剤や石けん水を柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。汚れが落ちないときは、水やぬるま湯で薄めた中性洗剤液の中で10分くらい浸してから時計を取り出して、汚れを落としてください。時計の厚み分約7cmの深さまで浸すことができます。

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



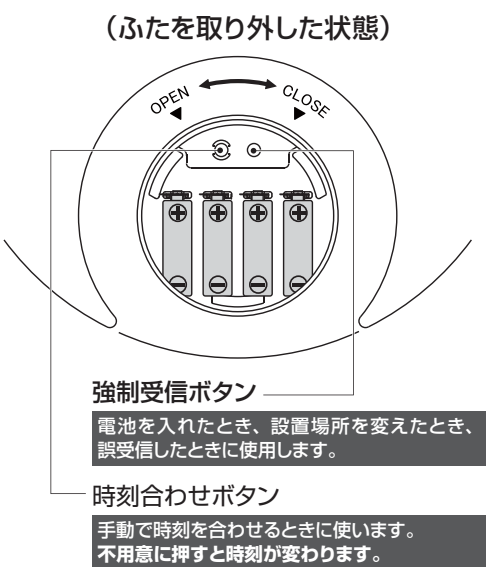
### 通常の針の動きについて

時針・分針は10秒に1回動き、秒針は連続して動きます。  
※自動受信で時刻を修正するときは、早送りしたり、停止することがあります。秒針は早送りしません。

### 電池の入れかた

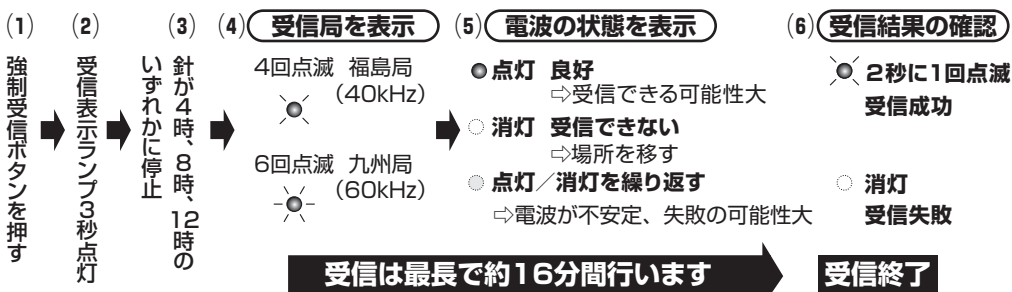
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を4個入れてください。

▲注意 電池の⊕⊖を逆向きに入れると電池からの液漏れや発熱、破裂の原因になります。



- パッキンに砂やほこりなどの異物が付着すると防水性能が低下しますので、取り除いてください。
- ふたが固く締めづらいときには、ふたを外して、パッキンの表面に良質のハンドクリームを薄く塗ってください。

## 標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



### 電波サーチ機能の使いかた

- 受信しやすい所を探すには
- ①窓際やベランダで(5)まで行き、受信表示ランプが点灯していることを確認します。
    - ▶受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
  - ②時計を掛けたい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
  - 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
  - 電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向くようにして、強制的受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
  - ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

## 電波を受信できないときは、手動で時刻を合わせてご使用ください。

## 手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞ **電波受信機能のON/OFF操作**参照。

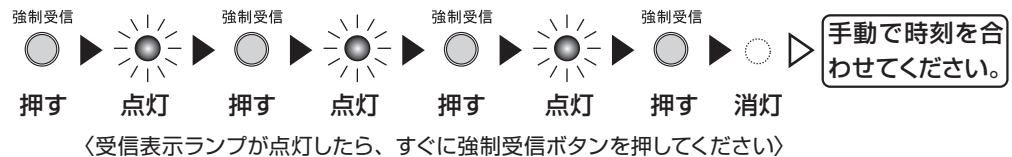
- 操作
- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
  - 時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。
  - 時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。
- 秒針の動きについて
- 時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。
  - 秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

## 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

### 電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

図のように強制的受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制的受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

### 電波受信機能をONにするには(開始するには)

電波受信機能は、工場出荷時にONになっています。時刻合わせボタンを押したまま、強制的受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制的受信ボタンを押して受信を開始させてください。



## ご注意

- ※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
- ※電池を取り出しても設定を長い時間保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

## ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- 1 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
- 2 強制的受信ボタンを押す **標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた**参照
  - 受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。針は、4時、8時、12時のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。
  - ※電池を入れた後は必ず強制的受信ボタンを押してください。
  - ※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
  - ※受信中はボタン操作をしないでください。
- 3 **時計の掛けかた**に従い、時計を確実に掛ける
- 4 16分待つて受信結果を確認する
  - 受信が終わると針が動き出します。受信表示ランプが2秒に1回点灯していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。
  - 消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探るか、**標準電波を受信できない場合**を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制的受信ボタンを押してください。

※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

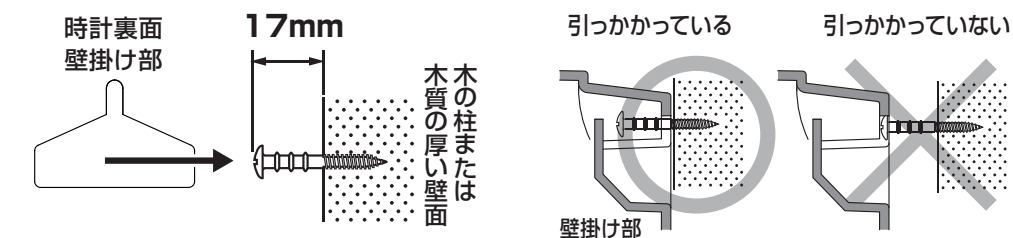
## 時計の掛けかた

### ▲注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 壁掛け部以外には掛けないでください。

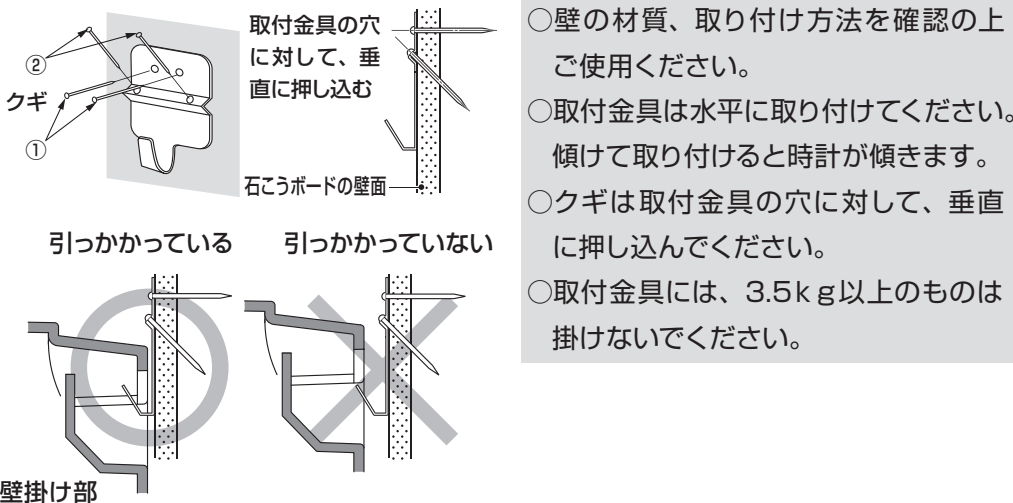
## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



## 石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のクギ4本でしっかり固定してください。金具を水平にして①②の順序でクギを押し込んでください。



## その他の壁面の場合

- 上記以外の壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 明暗センサーのはたらき……暗になると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針が12時位置に停止し、受信表示ランプが消灯します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。十分に明るい所で秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要です。

## 電池の交換時期お知らせ機能 **重要**

電池の交換が必要になると、明るい所でも秒針が12時位置で停止し、電波の受信を行いません。時針と分針はこのような状態になってから約1ヵ月間<sup>※</sup>時刻を表示し続けませんが、お早めに電池を交換してください。

<sup>※</sup>ご使用状態により、この期間は前後します。

※電池を長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。電池は時計が動いていても、5年に1回定期的に交換してください。

## 使用する電池の条件

電池を長期間使用しますので次のことをご確認ください。

- 条件を満たさない電池を使用すると、電池からの液漏れにより時計の故障や損傷を与えることがあります。また、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- ①電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上
  - 例. 2017年3月に交換 03 - 2021より先の「使用推奨期限」表示のある電池
- ②同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの
- ③未使用の電池
- ④単3形アルカリ乾電池



使用推奨期限の表示例 月一年